



Rally challenge



泥だらけのダート決戦。 初開催となる安芸高田ラウンドを攻める！

Rally Data

TRDラリーチャレンジカップ2015 Round 4 in 安芸高田

主催 ラリークラブ広島(RCH)

開催日 2015年6月21日(日)

開催エリア 広島県内

セレモニアル
スタート会場 安芸高田市役所
高宮支所

サービスパーク テクニクスステージタカタ

ゴール会場 テクニクスステージタカタ

セクション数 2

SS本数 5

SSトータル距離 12 km

総走行距離 約22km

参加台数
C-1 1台 E-2 7台
C-3 4台 E-3 4台

出走台数 15台

完走台数 14台

トヨタ自動車九州株式会社
(社内報)

J SPORTS
(テレビ)

JAF MOTOR SPORTS
(一般誌)

取材媒体

全国屈指の名門ダートコースを舞台に グラベルマイスターを決める一戦が始まる

6月21日、広島県安芸高田市においてTRDラリーチャレンジカップin安芸高田が開催された。前戦から一週間という短いインターバルながら16台がエントリー。オールグラベルとなる本戦に挑んだ。



本大会の前日、安芸高田市は洪水警報が発令されるほどの大雨に見舞われコースコンディションが心配されたが、当日は早朝から快晴。所々に残る水溜りも、徐々にドライコンディションへと変化していった。
変則的なスケジュールとなった本戦は、テクニクスステージタカタでのSS1を終えたラリーカーから安芸高田市役所 高宮支所でのセレモニアルスタート会場に移動する。ダートでの走行を終え、泥だらけになったラリーカーに、駆けつけた地元の方々からは多くの声援が送られた。
各ラリーカーは、セレモニアルスタートを終えたと再びテクニクスステージタカタに戻りSS1と同じコースレイアウトのSS2・SS3の走行へと進む。アップダウンとブラインドコーナー、難所となる立体交差ポイントをどう攻略するか、各車試行錯誤しながらの攻撃が続いた。



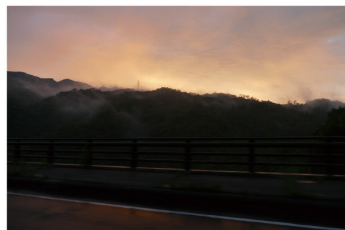
E-2クラスに参戦の矢野／山崎組は全日本ダートトライアルに参戦中のダートの名手。各SSで2位に10秒以上の差をつける快走を見せる。

午後のセクション2は同じテクニクスステージタカタながら、逆走コース。難所の立体交差も、違ったアプローチでの攻撃が求められる。毎ラウンド激しいバトルとなるE-3クラスでは今回もレッドヒートの展開。現在E-3クラスランキング首位の加藤選手はセクション1を終えた時点でクラストップタイム。しかし、続くセクション2で2位の名倉選手が猛追を見せSS4・SS5を連取する。しかし、わずか0.1秒届かず。加藤組の辛勝となった。



またC-3クラスも上位2台の激戦。SANGO Exhaust86 玉置／若松組とNAVUL 86増元／大矢組でSS毎に勝敗を分け合う展開となったが、最終SSにおいて玉置／若松組が大幅にタイムアップを果たし、見事初優勝を飾った。

次戦は7月の高山ラウンド。シリーズ中盤戦となる高山決戦に注目です。



誰でも参加できるクイズラリー“安芸高田ドライビング”も同時開催。ドライビング終了後には、全日本ラリー選手権に参戦中の曾根選手らによる迫力満点の同乗走行も実施され、参加者達はトップクラスのラリーカーの走りを体験した。

SS コースレイアウト

Section 1		Section 2	
SS1	グラベルA 2.330 km	SS4	グラベルB 2.450 km
SS2	グラベルA 2.330 km	SS5	グラベルB 2.450 km
SS3	グラベルA 2.330 km		

ステップアップサポート ランキング

学生ドライバー部門		一般ドライバー部門	
1	富本 諒 (奈良) 11	1	加藤 英佑 (埼玉) 42
2	井之上 優 (福岡) 1	2	丸山 剛史 (東京) 26
		2	佐々木 康行 (愛知) 26
		4	池田 みぎ (愛知) 2



トヨタ 86 限定



トヨタ車限定とし、気筒容積区分無し



トヨタ 86 限定

1位 矢野 淳一郎／山崎 貴之
E-2 クラス 2位 佐々木 康行／櫻井 貴章
3位 勝又 義信／足立 さやか

1位 加藤 英祐／山崎 和博
E-3 クラス 2位 名倉 成幸／名倉 洋子
3位 大谷 美紀夫／大田 智喜

1位 玉置 宏行／若松 仁
C-3 クラス 2位 増元 信彦／大矢 啓太
3位 田中 実／今村 俊之

※C-1 クラスはリタイヤ

次回、第5戦は7月12日(日) 岐阜県高山市内にて開催予定です。